

Press Release

報道各位

2021年1月13日

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ 美術振興財団

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 2021年度展覧会情報のお知らせ

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）は、今年設立30周年を迎えます。

30周年にあわせ、本年の展覧会では猪熊弦一郎が愛した街や生涯の師に注目し、様々な角度から猪熊とその作品を取り上げていきます。また展覧会事業に加え、多様な人々が芸術に触れる機会を積極的に作り上げていく事業にも取り組みます。これらの事業を通して、猪熊が思い描いた「美術館は心の病院」を体現し、現代を生きる人々にとってMIMOCAが喜びや希望、生きるヒントを得る場所となることを目指します。

プレス関係の皆様には、ご周知いただきたく、よろしくお願い申し上げます。



photo by Yoshiro Masuda

[お問い合わせ先]

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団
広報担当：奥本末世

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1
Tel. 0877-24-7755 Fax. 0877-24-7766

www.mimoca.org E-mail. press@mimoca.org



猪熊弦一郎展 いのくまさんとニューヨーク散歩

2021年6月19日（土）～9月5日（日）

猪熊弦一郎（1902-93）は、1955年からおよそ20年間、ニューヨークで活動しました。

当時のニューヨークは活気にあふれ、新しい文化が次々に生み出されており、猪熊の画業にも大きな影響を与えました。

本展では、ニューヨーク時代の作品と、猪熊自身が所蔵していた大量のDMポスターやチラシ、地図、写真、映像などの資料を展示し、猪熊が見たニューヨークの風景をご紹介します。

参加アーティスト：猪熊弦一郎

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

藤島武二と猪熊弦一郎展（仮称）

2021年9月18日（土）～12月5日（日）

東京美術学校で藤島武二（1867-1943）に学んだ猪熊弦一郎（1902-1993）。独自の歩みが続けた二人の作品を、藤島が「サンプリシテ（単純化）」、猪熊が「単化」または「シンプル」と呼び、制作において重視した考え方を通して展覧します。

参加アーティスト：藤島武二、猪熊弦一郎

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団



「新制作派協会創立会員。藤島武二（前列中央）と猪熊弦一郎（後列右から3人目）」1936年

地方都市の現在 丸亀の場合（仮称）

2021年12月18日（土）～2022年3月21日（月・祝）

地方都市の一例として、丸亀に焦点を当てる展覧会。

※概要、参加アーティストについては調整中

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

■観覧料

企画展：展覧会ごとに定めます

常設展：一般300円（240円）、大学生200円（160円）

※（）内は20名以上の団体料金

高校生以下または18歳未満の方、丸亀市内在住の65歳以上の方、各種障害者手帳をお持ちの方（ご本人と同伴の介護者1名）は、展覧会の観覧料が無料となります。

【注】

常設展は企画展の会期にあわせて開催いたします。

また、今般お知らせした展覧会以外の催しに関しては、別途プレスリリースにてお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大など社会情勢に応じて展覧会日程の変更および臨時休館する可能性もございますので、予めご了承ください。